

10月19日 老若男女 踊り続ける「くにさきボンダンス」

ダンスと音楽を通じて地域交流を図ろうと、「くにさき時祭大ボンダンス大会」が、安岐町富清のアキ工作社（旧西武蔵小学校）で開催されました。地元在住のアーティスト山中カメラさんが制作したオリジナル音頭を、吹奏楽や大正琴のグループがアレンジして演奏。地元をはじめ市内外から訪れた多くの参加者が手をつないで輪を作り、手拍子や掛け声に合わせて踊りました。



▲山中カメラさん



▲伊賀由希子さん



やぐらの上で2時間歌い続けた歌手の伊賀由希子さん（国東町）は「みなさんが楽しそうに踊っている様子を見て、パワーをもらいました」、山中カメラさんは「いつまでも続けたい」とほっとした様子で話しました。

10月11~13日 アートの谷で、のんびりな休日

国見町伊美のギャラリー通りで「アートの谷の秋まつり」が開催されました。毎年春と秋に実施している「工房ギャラリーめぐり」の10回目を記念して、開催エリアを伊美地区にまとめました。

期間中は、国見町内に在住する作家の作品や、空き家を活用した展示やワークショップが行われ、来場者のはのびりと芸術の秋を満喫していました。



10月15日 若き射手、願いを込め駆け抜ける

国見町の伊美別宮社で「流鏝馬」が行われ、馬に乗った射手が境内の直線路を疾走しました。射手を務めたのは、国東高校双国校3年の大末晋也さん（国見町中）で、夏から特訓を重ねて本番に挑みました。矢が的に命中すると、参拝客や同級生たちから大歓声が起こりました。



10月19日 元気に遊べこどもっと！ランド

地域で子育てを応援するイベント「こどもっと！ランド in くにさき」がアストくにさきで開催されました。市内の子育て支援関係22団体と大分合同新聞社が主催したイベントには、市内外から2000人以上の親子連れが訪れ、3B体操やダンボール迷路、巨大仁王様の色塗りなどさまざまな体験をして楽しみました。



10月14日 火の粉と歓声が飛ぶケベス祭

国見町檜来の岩倉社で伝統行事「ケベス祭」が行われました。御神火に飛び込もうとするケベスと、阻止するトウバたちとのせめぎ合いが始まり、会場は緊張に包まれました。ケベスが火に飛び込んだあとはトウバたちが燃え盛るシダの束を持って駆け回ると、逃げ惑う観客の歓声と悲鳴が境内に響き渡りました。

なお、今年のケベス役には、国見町檜来（金丸）出身の小深田大樹さん（33）が選ばれ、大役を務めました。



9月27日 10月4日 秋空に「人権の花」咲く



▲武蔵西小学校（9月27日）

武蔵西小学校と安岐小学校で取り組んでいる「人権の花」運動の一環として、児童が育てた花の種を風船に付けて飛ばすイベントを、運動会で行いました。武蔵西小では武溪保育所や社会福祉法人秀溪会と、安岐小では安岐幼稚園と一緒に風船を飛ばしました。

風船は、県内各地や遠くは愛媛県まで飛んで行き、拾った方々から手紙や電話がありました。子どもたちの優しい心の花が咲いた素敵な一日となりました。



▲安岐小学校（10月4日）

10月11日 功績を後世に「元田肇フォーラム」

明治から昭和初期にかけ、政治家として衆議院議長や鉄道大臣を務めた郷土の偉人、元田肇氏の遺徳を偲ぶフォーラムが、アストくにさきで開催されました。

特別挨拶やこくとう甚句、文学博士の岩見輝彦氏による「國東さんの漢詩 新たな訳への試み」と題しての講演、元田肇にまつわる研究発表などが行われ、約200人の参加者は熱心に耳を傾けていました。

